

1. ベクトル空間において、 $u_1, u_2, u_3$  が 1 次独立であるとする。次の各問に答えよ。

(1)  $v_1 = u_2 + u_3, v_2 = u_3 + u_1, v_3 = u_1 + u_2$  とするとき、 $v_1, v_2, v_3$  が 1 次独立であるか、1 次従属であるか、理由をつけて述べよ。

(2)  $w_1 = u_2 - u_3, w_2 = u_3 - u_1, w_3 = u_1 - u_2$  とするとき、 $w_1, w_2, w_3$  が 1 次独立であるか、1 次従属であるか、理由をつけて述べよ。

2. 次の行列式を一次式の積に分解せよ。

$$\begin{vmatrix} a^2 & (b+c)^2 & 1 \\ b^2 & (c+a)^2 & 1 \\ c^2 & (a+b)^2 & 1 \end{vmatrix}$$

3.  $xy$  平面において、次の関数のうち、どれが最大値をもち、どれが最小値をもつか。理由をつけて示せ。

(1)  $e^{x-y}$

(2)  $e^{x^2+y^4}$

(3)  $(x+y)e^{-x^2-y^2}$

4. 次の定積分を計算せよ。

(1)  $\iint_D xy \, dy \, dx \quad (D = \{(x, y) \in \mathbb{R}^2 \mid 0 \leq x \leq 1, 0 \leq y \leq 1\})$

(2)  $\iint_D (|x| + |y|) \, dy \, dx \quad (D = \{(x, y) \in \mathbb{R}^2 \mid |x| + |y| \leq 1\})$

(3)  $\iint_D (x^2 + y^2)e^{(x^2+y^2)^2} \, dy \, dx \quad (D = \{(x, y) \in \mathbb{R}^2 \mid x^2 + y^2 \leq 1\})$

(4)  $\iint_D \frac{xy}{x^2 + y^2} \, dy \, dx \quad (D = \{(x, y) \in \mathbb{R}^2 \mid y \geq x, 1 \leq x^2 + y^2 \leq 2\})$

5.  $f(x)$  をすべての  $x \geq 1$  に対して定義された単調増加な連続関数とする。 $f(x) > 0$  であるとするとき、次の各問に答えよ。

(1)  $f(1) + f(2) + \cdots + f(n-1) \leq \int_1^n f(x) \, dx \leq f(2) + \cdots + f(n-1) + f(n)$  を示せ。

(2)  $F(x) = \int_1^x f(t) \, dt$  とする。また、 $\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{f(n)}{F(n)} = 0$  を仮定する。そのとき、

$$\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{f(1) + f(2) + \cdots + f(n)}{F(n)} = 1$$

を示せ。

6. 次の微分方程式の一般解を求めよ。

(1)  $y'' - y = 0$

(2)  $y'' + y = 0$

7. 次の漸化式で与えられる数列  $\{a_n\}$  の極限  $\lim_{n \rightarrow \infty} a_n$  について次の問に答えよ。

$$a_{n+1} = \left(\sqrt{2}\right)^{a_n}$$

(0)  $a_1 = 2$  または  $a_1 = 4$  のとき、 $a_n = a_1$  ( $n = 1, 2, 3, \dots$ ) を確認せよ。

(1)  $a_1 < 2$  のとき、 $\lim_{n \rightarrow \infty} a_n = 2$  を示せ。

(2)  $a_1 > 4$  のとき、 $\lim_{n \rightarrow \infty} a_n = \infty$  を示せ。

(3)  $4 > a_1 > 2$  のとき、 $\lim_{n \rightarrow \infty} a_n = 2$  を示せ。